

千葉県野田市及び流山市と東京理科大学との主な取り組み

2026年4月1日現在

No.	種類	事業内容
1	地域のニーズに応じた学校支援活動	多様な課題を現場と共有し、学内の知的・人的資源を活かしながら、地域の教育活動の充実と向上を支援する取組を進めていきます。 ①わくわく理科特別授業の実施 野田市教育委員会とのパートナーシップ協定に基づき実施する支援事業の1つで、野田市内の小中学校において本学の教員及び学生が実施する出張講義です。 ②野田市内中学校部活動支援 ・東京理科大学 ソフトボールクリニックの開催 ソフトボール競技者対象に基本的な技術指導から応用技術、練習法の習得を目指したクリニックを年3回開催します。 ③野田市小学校の水泳指導 6月下旬から7月中旬の約3週間、野田市内小学校へ本学水泳部の学生が、水泳指導補助支援を行います。 ④生物多様性講座の開催 野田市の「生物多様性のだ戦略」の一環として、同市の身近な自然から見る生物多様性とその重要性を学び、理解を深めることを目的に小学生、中学生、一般を対象として年2回開催します。 ⑤統合型プログラミング教育の実施 流山市との包括連携協定の一環として、企業と連携し、教材やカリキュラム開発を行い、同市立小・中学校を対象に本学の教員及び学生が公開授業を行います。 ⑥「からだのサイエンス」 近隣小学生を対象に身体機能の測定と楽しい運動を通して生命現象から科学について学習します。 ⑦流山市小学校の理科授業の一部担当 教員を目指す学生が、科学のときめきを伝えるために工夫した授業を行います。 ⑧「子ども運動能力向上プロジェクト」 2025年度から野田市内小中学校で、全ての生徒に行っている新体力テストの結果を上記「からだのサイエンス」とコラボレーションし、子どもたちの生活習慣の形成を支援しています。 2026年度は、流山市の小学生も参加し、夏休みを利用して実施予定です。
2	社会・地域の方へ向けた教育活動の推進・支援	生涯学習社会の形成に向けて、各種講座などの開催をはじめ、講師派遣など、さまざまな支援活動を行っています。 ①市民向け講演会の開催 地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に行う市民向け講演会です。年に4回、身近なテーマで本学教員が講演します。 ②流山市生涯学習「ゆうゆう大学」への講師派遣 「理窓会記念自然公園」において地形や草花等の観察後、講義を受けます。 2回 ③利根運河交流館とのコラボ 「利根運河で自由研究」と題して、運河の水質実験及び本学「なるほど体験館」の体験装置で遊びながら科学の不思議を学びます。 ④「ジュニアカレッジ」 流山市東深井地区の小学生高学年を対象に、科学体験学習を行います。
3	地域文化の保護・支援活動への参加	①野田市地域づくりネットワークへの加入 本学「なるほど科学体験館」が「野田市地域づくりネットワーク」に加入し、野田市内に点在する歴史・文化・自然等の文化資源を持つ各施設が連携して情報共有・発信や協働事業を展開することにより、豊かな文化や歴史が生きる地域社会づくりに貢献します。 ②流山市「雛めぐりスタンプラリー」に参加 野田キャンパス正門、なるほど科学体験館に「坊っちゃん、マドンナちゃん雛人形を設置します。 ③利根運河「泳げ！みんなのこいのぼり 2026」に参加 利根運河上空に「東京理科大学鯉のぼり」が泳ぐ「泳げ！みんなのこいのぼり 2026」に参加します。 ④流山市「利根運河クリスマスイルミネーション」に参加 毎年12月10日頃から1カ月間、地域連携の一環として、利根運河沿いを含め本学敷地内にイルミネーションを点灯します。

4	学生の社会参加の推進	学生が地域活動に積極的に参加することを通して、視野の拡大を図り、地域貢献力を育む社会や地域の方々と協働する貴重な体験をバックアップします。 ①シアターナイト 2012年から開催されているイベント「場のデザインと地域交流のイベント」で本学創域理工学部建築学科の学生有志を中心に実施委員会を組織し企画運営し、地域の方々と関わりながら開催します。 ②ミズベリング 市民、企業、行政が三位一体となって「日本の水辺に新しい活用の可能性を創造していく全国的プロジェクトである「MIZUBERING TONEUNGA」(本学共催)に学生団体が企画・運営に参加します。 ③ヤマユリの支柱立て 本学がネーミングライツパートナーとなっている「東京理科大学ふれあいの杜(中央の杜)」において、野田市と本学学生(環境保全サークルRiSO Yanger)がヤマユリを支柱で支える保全活動を実施します。 ④里山の整備 本学学生が野田市、流山市の両市内にある里山の環境保全活動に参加します。 ⑤「利根運河の生態系を守る会」との本学理窓会記念自然公園整備 本学学生が、野田市・流山市住民がメンバーとなっている「運河の生態系を守る会」の皆様にご指導を受けながら公園内の自然環境保全作業を行います。 ⑥ハビネスタウンNNAプロジェクト 流山市北部地域を拠点に、産・学・官・民の連携で、近隣住民の方々が生き生きと笑顔で過ごせるソーシャルインクルージョンを目指す活動に本学学生が参加します。 ⑦「えか自然農場」での野菜づくり 本学学生が農場からお借りした畝で、農業指導を受けながら野菜作りを行います。 ⑧流山市視覚障害者協会への協力 「利根運河水辺散歩」へのボランティアとして協力します。 ⑨利根運河交流館主催「うんがいい朝市」への出店 本学学生が、地元の朝市で出店、イベント開催に協力します。 ⑩「里山で鬼ごっこ」開催 本学学生が開発したアプリを使い、野田キャンパス周辺の野田・流山・柏・松戸・我孫子市民を対象とした本学理窓会自然公園を中心とした広大なエリアを、電車やバス、徒歩を利用した鬼ごっこを開催します。
5	キャンパス施設の近隣住民開放	地域の方々に親しまれる「野田キャンパス」として、本学施設の開放を進めていきます。 ①図書館 入口を入るとすぐにカウンターがあり、貸出、返却のほか、レファレンス等、図書館利用の際の質問等を受け付けています。また、カウンター前には、企画展示のコーナーもあります。 ②理窓会記念自然公園・セミナーハウス 貴重な動植物が生息する「理窓会記念自然公園」と共に研修機能を持つ宿泊可能な施設としてセミナーハウスを地域に開放し、生涯教育の実践や種々の公開講座を通じて 地域貢献の場づくりを進めます。 ③「野田むらさきの里ふれあいウォーク」開催について 野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市民などの約550名が参加する野田市主催「ふれあいウォーク」を本学セミナーハウスをスタート・ゴールで開催します。 ④「理窓公園交流館」 理窓会記念自然公園(理窓公園)に生息している貴重な動植物の写真、調査結果の展示(近隣住民の方々からの提供も含め)、理窓公園内の維持・整備等活動の記録、本学理工学部応用生物科学科OB会から寄贈された当時の学生サークル「生物研究会」「野鳥クラブ」の記録などを公開するとともに、理窓公園に訪れた市民の方々の憩いの場として開放しています。
6	防災支援	①災害対策基本法に基づく野田市からの要請に基づき、野田キャンパスに「指定緊急避難場所」及び「指定避難所」を設置し、本学が運営協力を行います。 また、地域防災の知識を備えて減災の準備や、被災時・被災後の利用者の生活を乗り切るための支援、さらには進んで他の人々や地域の安全を支える能力などを学ぶことを目的としたセミナーの開催を進めます。 ②「地域防災を支える人材育成プログラム」の実施について 野田市・流山市等と連携して、地域防災を支える人材を育成することを目的に、プログラムを2部構成の内容で社会人を対象に開催します。

7	その他	①「野田キャンだより」の発行 地元の方々に理科大の今を、もっとよく知っていただくため、春夏秋冬の隔月で「野田キャンだより」を発行し、地域に根差した野田キャンパスを目指します。 ②東京理科大学オンラインフィットネスプログラム 限られた空間の中で、体力の現状を知る方法として『TUS（東京理科大学）オリジナル オンラインフィットネスプログラム』を野田健康づくり協議会と連携し、行うことで、市民・事業所の方々の健康管理に貢献します。 ③「野田きゃんカフェ」の開催 地域の方々から本学との交流についてご意見をいただき、セミナーハウスで本学主催のミニ講座「野田きゃんカフェ」をカフェスタイルで年6回行います。 ④「6人制ソフトボール大会」の開催 千葉県で発祥した「6人制ソフトボール」（発起人の1人が現先進工学部生命システム工学科卒業）の普及活動を野田市ソフトボール協会と連携して、野田キャンパスグラウンドで毎年11月に公式大会として開催しています。 ⑤共同研究の実施 介護予防・日常生活支援総合事業の多様なサービスの導入について、共同研究に取り組んでいます。 2025年度は、野田市と共に介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び一般介護予防事業調査を行いました。2026年度は、QOLの測定、デジタル健康政策に関する調査、交通実態調査を実施予定です。 ⑥「野田わくわく探検隊2026」の開催 野田市青少年相談員協議会主催のイベントに本学も協力します。千葉県野田市は醤油の産地であり、同市内醤油工場の見学の他、本学なるほど科学体験館での科学体験や理窓会自然公園におけると自然観察に協力いたします。
---	-----	--